

各位

 令和3年6月22日
 碧海信信用金庫

2021年3月期（令和2年度）決算発表

碧海信信用金庫（理事長：山内 正幸）は、2021年3月期（令和2年度）の決算について、以下のとおり業績の要約を公表いたします。

記
1. 主要業績数値

		2021年3月期 (当期)	2020年3月期 (前期)	増減
預貸金状況	預金積金残高	2,227,555百万円	2,128,278百万円	+99,276百万円 (+4.66%)
	貸出金残高	1,128,306百万円	1,043,896百万円	+84,409百万円 (+8.08%)
損益状況	業務純益	4,631百万円	5,559百万円	△928百万円
	経常利益	4,672百万円	5,061百万円	△389百万円
	当期純利益	3,576百万円	3,455百万円	+120百万円
健全性	純資産額	184,732百万円	173,909百万円	+10,822百万円 (+6.22%)
	自己資本比率(単体)	15.32%	15.35%	△0.03ポイント
	不良債権比率	2.69%	3.01%	△0.32ポイント

※ 単位未満切捨て表示。

※ 不良債権比率は金融再生法ベース。小数点第3位を四捨五入して表示。

2. 業績コメント
〔預貸金状況〕

○預金積金残高は、普通預金などの増加により、前期比99,276百万円増加の2,227,555百万円となりました。貸出金残高は、新型コロナウイルス関連融資を中心に事業性の貸出などが増加し、前期比84,409百万円増加の1,128,306百万円となりました。

〔損益状況〕

○有価証券利息配当金などが増加しましたが、資産の健全性を確保するため、将来の損失に備えた引当などを行った結果、業務純益 4,631 百万円、経常利益 4,672 百万円、当期純利益 3,576 百万円となりました。

〔健全性〕

○自己資本比率（単体）は、総資産の増加などの要因により、前期比 0.03 ポイント低下の 15.32%となりました。信用金庫に求められる国内基準（4%）を大きく上回っており、当金庫の安全性は極めて高い状態にあります。

○不良債権比率（金融再生法ベース）は、前期比 0.32 ポイント低下の 2.69%となりました。

以 上